

車室映画爆笑篇全プロ週間

日より十六日まで

エノケンの大冒険

原作・脚本 山中 嘉次
演出 本川 信

榎本健一・村中 小太郎・コイメ大名・フードン・ジャックウソ主演

土管我が家のペンベルノエンケ・中途の混放・拾ひたまはがの・四目二十もロキ・と西一の珍無頭・道記が始まりす・笑映・笑・数の笑王ノエンケ空前の大喜劇



だんだん

巻八 緋繭



原作・演出 岡田 敬

△新形俳優ナンチャンがこの度は股羽衣衆者となつて活躍に、アリスのオプサンが現代のオホフロボーと香太郎二役で熱演。寛政七代の明男大橋若原がいとも美しい町娘になるというだけでお上りその縁しき、たゞしさ、は構想傑出来やうと云ふ現りの新作を聞かんだら御座る。

清水金一 高勢実乗 椿 澄枝 若原春江 出演



銀幕巨匠 岸松雄 其一代 海泥男

持田高子 江大智恵子 演出 待月山 子江大 子江大智恵子

横尾泥男 一行十三名

「よし、道順を止めたか」
と云ふ。いふ道順は不助だ。
それは鳥居鑑蔵個人にして
約束をしたのだ。南町奉行
として約束をしたのでは無
い考へられる。無いはずに」
「是、はい!」
今日鳥居は、いつもの
島居と、よほど風角が違つ
て居る。
陣十郎は、只だ巻け入つ
て脇の下に、ビツヨリ冷
汗をかいた。
しかし、それだけでは済
まなかつた。
鳥居更に、
「近頃、橋場の浪の世の世
評は、あまり長くないやう
だ」と前にも言ひ出した
島居は、陣十郎を對して
「だんだん辛癢になつて來た
昨日、その浪人は、殺人
に同着て、一にも夜二、
三にも害と、やたらに威張
つて、虎の威を借る氣の眞
似をしてゐる、却て御上の
御威勢を失墜するものだ
と考へたところから奉行
に訴へた。こゝろ一つとな
りなき、道順 至極だと思

ふかりだ。
案相連の陣十郎、這
の處で逃げ出た。
陰險、惡態半面、鳥居
は、非常に厭憎、所謂
才鼻へ抜けた男でもあつた。

昨日、下役の者から、
「今日、浅草山に於て
しかにござへ、と、報告
受けた時、
「不埒の浪人、召捕れ!
と、一時激昂した
が、やがてきた者へ直しか
ら、その浪人を恐れたのが
實つた。」

否、さうでもない。その
人の聲が、だゞ「押解
つて、遂に天民衆の尊
化すること恐れたのです

「鳥居鑑蔵、如何に役者
巧いと云つて、世上の人
を失つては、芝居は打て
ない。」

といふ道理を知つてゐ
る。その事柄から、い
ちやに、奴に顔をしな
く巧く使さねばならぬ
陣十郎が、失敗したもの
こそ益であつた。

[illegible][illegible]

地よく
 多有利
 金融整
 電話特融
 (大口優待)
 志ちや
 電話③五七八
 イヒヤ
 通算仕神精目丁二町堀
 屋京東

十！トツコスマの様皆

高 峰 秀 子

十二日 上り



東宝

高田 隆太 作

千葉 泰樹

南旺映堂・東寶映

露明朗露

重寶唯一の敵娘

高 峰 秀 子 主 演

千田 是也 灰田 勝彦

若原 春江 澤村 貞子

清川 玉枝 菅羽久米子

小高まさを 伊達 里子

九大職業野球
スターブレイ
ヤード出演

豊劇

春よ来て

東宝東宝
東宝東宝

川口松太郎 原作
瀬邊邦男 演出
古賀政男 作曲
西條八十 作詞

藤山 一郎
霧立のぼる
徳川夢聲
生 演

唄だ！
この樂
しさを！

紀元二千六百年松竹大船記念映畫

女大性進行

督 監 同 協 實 谷 澁・吉 研 原



葉河齋藤奈高飯岡
 山村藤野良松田村
 正黎達秀眞榮蝶文
 雄吉雄夫養子子子
 葛羽出東忍若木森
 城田雲山水暮川
 文登八光節絹たま
 子子子子子子代み

長春座

十一日
まで！
水戸光子・三浦光子
美はしき隣人
海江田譲二・高田浩吉
幡隨院一家
十九日
錢一均

新東京二條通り三六

